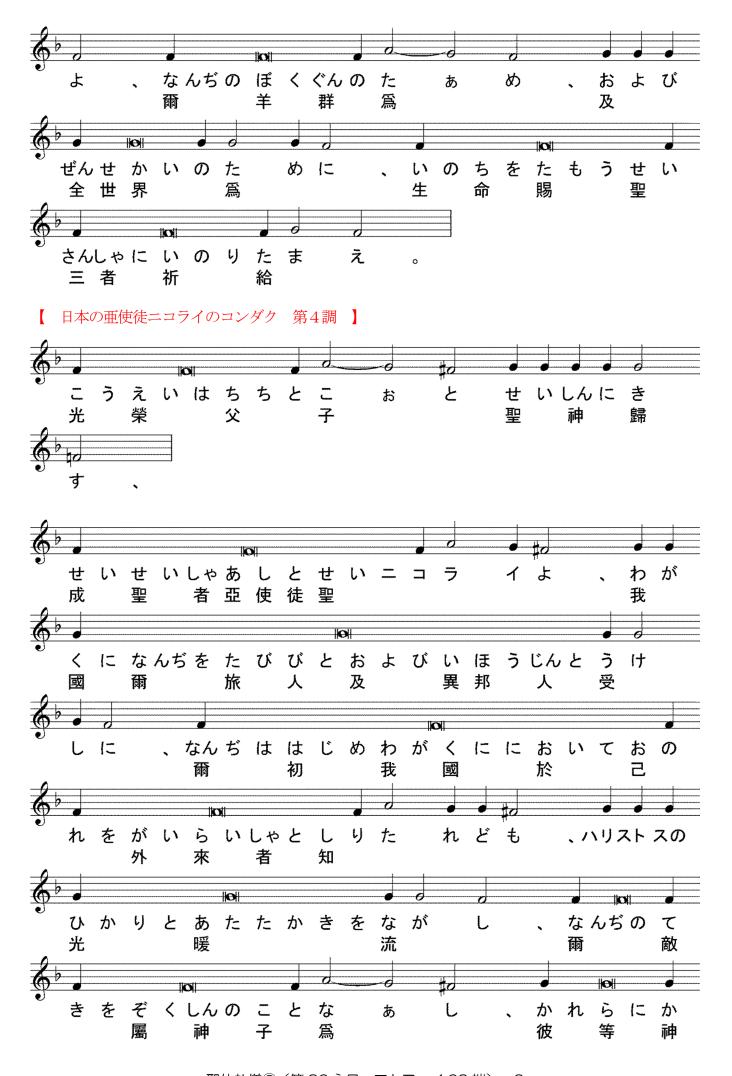
【 復活のトロパリ 第3調 】



【 日本の亜使徒ニコライのトロパリ 第4調 】





聖体礼儀②(第36主日 マトフェイ62端)-2







聖体礼儀②(第36主日 マトフェイ62端) - 3



司祭) (黙誦: 聖なる神、聖者の中に息い、セラフィムより聖三の聲を以て歌 頌 せられ、

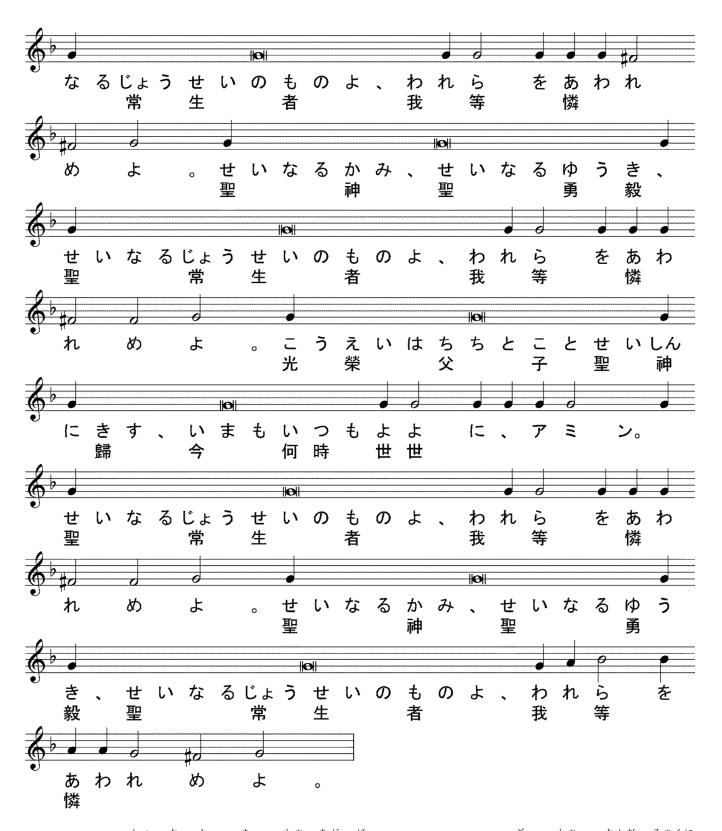
へルヴィムより 讃楽せられ、 透くの天軍より伏拜せられ、萬物を無より有となし、人を爾の像と肖とに依りて造り、爾が諸の賜を以て之を飾り、なんちの像と肖とに依りて造り、爾が諸の賜。を以て之を飾り、ない、人を爾の像と肖とに依りて造り、爾が諸の賜。を以て之を飾り、ない、人を爾の像と肖とに依りて造り、南が諸の賜。を以て之を飾り、ない。古の書と明悟とを與え、罪を行う者を棄てずして、其救の爲に痛悔を立て、我等卑しくして不當なる爾の諸僕を、此の時に於ても、衛が聖なる祭壇の光榮の前に立ちて、爾に當然の伏拜讚榮を奉るに堪うる者となしし主宰よ、爾親ら我等罪人の口よりも聖三の歌を受け、爾の仁慈をもいて我等に臨み、我等に凡そ自由と自由ならざる罪を赦し、我が靈ととない、我等に兄そ自由と自由ならざる罪を赦し、我が靈ととせいて我等に臨み、我等に凡そ自由と自由ならざる罪を赦し、我が靈ととせいて我等に臨み、我等に凡そ自由と自由ならざる罪を赦し、我が靈とと世にし、我等に生涯善功を以て稱言なる。

けだしわ かみ なんぢ せい われらこうえい なんぢちち こ せいしん けん いま いっ よよ司祭) 蓋 我が神よ、爾 は聖なり、我等光 榮を 爾 父と子と聖 神に献ず、今も何時も世世に、





聖体礼儀②(第36主日 マトフェイ62端)-4



司祭)(黙誦: 主の名に依りて來たる者は崇め讃めらる、ヘルヴィムに座する者よ、爾は其國 こうえい ほうざ ぁ っね ぁが ほ の光 榮の寶座に在りて恒に崇め讃めらる、今も何時も世世に、)

プロキメン 【 提 綱 主日第3調 】

っつし き しゅうじん へいあん **司祭**) **愼 みて聽くべし、衆 人に平安、**

えいち **司祭)睿智、**

誦經 プロキメン、我が神に歌い歌えよ、我が王に歌い歌えよ、



ばんみん て う よろこび こえ もつ かみ よ **誦經) 萬 民よ、手を拍ち、 歡 の聲を以て神に呼べ、**



たかみ うた うた3た うた3



【 使 徒 經 182 半端 コリンフ後書6章16節~7章1節 】

司祭) 睿智、

im經) 聖使徒パヴェルがコリンフ人に達する後書の讀、

司祭) 謹 みて聽くべし、

おそもつ せい な **畏 るるを以て聖を成すべし**。

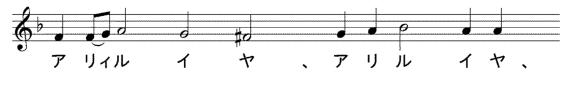
(比較用 口語訳) わたしたちは、生ける神の宮である。神がこう仰せになっている、「わたしは彼らの間に住み、かつ出入りをするであろう。そして、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となるであろう」。だから、「彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。そして、汚れたものに触てはならない。触なければ、わたしはあなたがたを受けいれよう。そしてわたしは、あなたがたの父となり、あなたがたは、わたしのむすこ、むすめとなるであろう。全能の主が、こう言われる」。愛する者たちよ。わたしたちは、このような約束を与えられているのだから、肉と霊とのいっさいの汚れから自分をきよめ、神をおそれて全く清くなろうではないか。

【 アリルイヤ 主日第3調 】

司祭) 爾に平安、

司祭) 睿智、

誦經)アリルイヤ、





しゅ われなんぢ たの ねが われよよ はぢ え 誦經) 主よ、我 爾 を恃む、願わくは我世世に羞を得ざらん、





たため、けんご、かくれが、これが、これ、かく。 たま <mark>誦經)我が爲に堅固なる避 所となりて、我に常に隱るるを得しめ給え、</mark>



エヴァンゲリォン 【 福 音 經 マトフェイ福音書 62 端 15 章 21~28 節 】

えいち つつし た せいふくいんけい き しゅうじん へいあん 可祭 睿智、 粛 みて立て聖福音經を聽くべし、衆 人に平安、

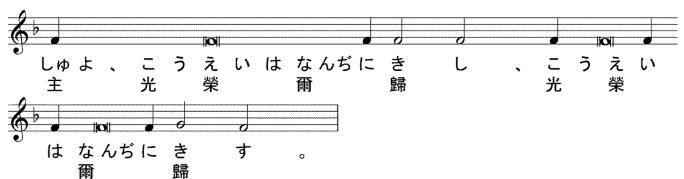


可祭)マトフェイ傳の聖福音經の讀、



 し 羊 にのみ 遣 されたり。婦 近づきて、彼を拜して曰えり、主よ、我を助けよ。彼答 えて曰えり、見曹の餅を取りて、狗に投ぐるは、宜しからず。婦 曰えり、主よ、然り、唯 物も又其主の食 卓より遺つる屑を食う。其時イイスス答えて彼に謂えり、嗚呼婦よ、 なんぢ の信は 大 なり、爾 が望む如く爾 に成るべし、其 女 斯の時より愈えたり。

(比較用 口語訳) イエスはそこを出て、ツロとシドンとの地方へ行かれた。すると、そこへ、その地方出のカナンの女が出てきて、「主よ、ダビデの子よ、わたしをあわれんでください。娘が悪霊にとりつかれて苦しんでいます」と言って叫びつづけた。しかし、イエスはひと言もお答えにならなかった。そこで弟子たちがみもとにきて願って言った、「この女を追い払ってください。叫びながらついてきていますから」。するとイエスは答えて言われた、「わたしは、イスラエルの家の失われた羊以外の者には、つかわされていない」。しかし、女は近寄りイエスを拝して言った、「主よ、わたしをお助けください」。イエスは答えて言われた、「子供たちのパンを取って小犬に投げてやるのは、よろしくない」。すると女は言った、「主よ、お言葉どおりです。でも、小犬もその主人の食卓から落ちるパンくずは、いただきます」。そこでイエスは答えて言われた、「女よ、あなたの信仰は見あげたものである。あなたの願いどおりになるように」。その時に、娘はいやされた。



※聖体礼儀③(金口イォアン聖体礼儀)へ